

# 平成30年度 秋・冬 公民館講座の実施について

平成30年8月23日現在

## 1. 秋・冬の公民館講座

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数
神戸・阪神間街かどウォッチング	全2回 9月6日 13日	20		
芦屋の街かどウォッチング	全2回、9月20日・27日	25		
秋の健康ハイキング講座	全9回、10月1日～12月3日	28		
世界はニュースだけではわからない	全6回、10月13日～3月9日	90		
歴史を探る 「戦国時代の闇をあばく」	全3回、10月5日～12月7日	90		
田辺真人先生の 「文化の歴史」	全6回、10月18日～3月28日	90		
芦屋病院公開講座	全6回、10月6日～平成31年3月2日	80		
阪神間ゆかりの作家たち	全3回、10月11日～12月13日	90		
サイエンス講座 「量子ビームの拓く世界」	全3回、10月20日～12月1日	90		
心理学への招待	10月12日 11月16日 12月4日	90		
芦屋で暮らした人々	全3回 1月～3月	90		
芦屋大学公開講座	全2回、	100		

## 2. 講演会・公開セミナー

事業名	実施予定日
秋の公民館・開講記念講演会「高山右近にみる現代へのメッセージ」	10月1日
芦屋の映像コレクション「昭和初期六麓荘の家族の生活他」	10月27日
古典の日記念講演会「平安時代における雅楽の成立」	11月2日
消費生活セミナー「 未定 」	11月22日
家庭教育セミナー「 未定 」	11月9日
NHK公開セミナー「NHK公開講演会 太陽の塔展」	10月3日
NHK公開セミナー「藤田嗣治展」	10月12日
消費生活セミナー「 未定 」	12月6日
親子ひろば「 未定 」	
文学に親しむ「 未定 」	
家庭教育セミナー「 未定 」	

## 3. 音楽会(業務委託仕様書…5回以上)

事業名	実施予定日
公民館音楽会「古楽器のアンサンブル 横山知彦ほか」	10月6日
公民館音楽会「古楽器のアンサンブル 頼田麗ほか」	11月17日
公民館音楽会「ピアノ独奏、または他楽器とのアンサンブル 東海林茉奈」	12月15日

## 4. 常設展示事業(予定)

- ⑤夏休み子ども教室の作品展 8月29日～9月1日
- ⑥芦屋のペット・大集合写真展 9月12日～9月24日
- ⑦芦屋川カレッジ36期生募集 3月1日～3月18日
- ⑧芦屋の素的な景観「水彩画展」3月20日～4月1日

## 5. 公民館ギャラリー 平成30年9月～12月実施予定が8グループ

## 6. 平成 30 年度 阪神くすの木学級 尼崎教室

- (1) 概要 芦屋市・西宮市・尼崎市・伊丹市・川西市・宝塚市・三田市・猪名川町に在住の聴覚・言語障害者が対象の教室で、今年は尼崎市が当番市として実施。県が、県くすの木学級運営委員会に委託し、「阪神くすの木学級尼崎教室運営委員会」が実施。尼崎市立大庄公民館が事務局。
- (2) 内容 日時…未定  
会場…未定

## 7. 平成 30 年度 阪神南青い鳥学級 尼崎教室

- (1) 概要 芦屋市・西宮市・尼崎市に在住の視覚障害者が対象の教室で、今年は尼崎市が当番市として実施。県が、県青い鳥学級運営委員会に委託し、「阪神青い鳥学級尼崎教室運営委員会」が実施、尼崎市立立花公民館が事務局。
- (2) 内容 日時…9月12日～12月1日に実施（全4日）  
会場…尼崎市立立花公民館ほか



# キリタン大名 高山右近にみる

## \*現代へのメッセージ\*

2017年2月7日、大阪城ホールにおいてユスト高山右近の列福式が行われました。日本のカトリック教会は、キリタン大名高山右近を聖人に認定されるよう運動を続けています。カトリック教会にとって聖人とは何か、なぜ高山右近なのかを説明します。同じ時代に生きた戦国武将たちとの交流から見えてくる、現代社会へのメッセージについて考えます。

2018年

10月1日(月)

午後2時～3時30分

講師

川邨裕明 神父

1968年大阪生まれ、1995年4月東京カトリック神学院入学、2002年3月大阪カテドラル聖マリア大聖堂にて司祭叙階、夙川教会助任司祭、いずみブロック(岸和田、浜寺、和泉の三教会)担当司祭、紀泉ブロック(泉南、岬、紀の川の三教会)の主任司祭を経て、現在、カトリック芦屋教会主任司祭、ユスト高山右近列福運動推進委員会委員長、カトリック中央協議会列聖推進委員会委員を歴任。

右近の結婚を記念する祭りです

芦屋市民センター  
401室

入場無料・申し込み不要

(先着100名・直接会場にお越し下さい)

主催 芦屋市立公民館  
☎35-0700

# サイエンス講座 量子ビームの拓く世界

「量子ビーム」とは、利用目的に合わせてよく制御された光(レーザー、放射光等)や粒子線(電子、陽子、中性子等)のことで、波動性と粒子性を併せ持ち、素粒子・原子核や物質・生命科学などの基礎・応用研究、医療・産業利用にいたる幅広い分野で利用され新しい科学・技術分野を生み出しています。第1回では量子ビームの全体像を紹介し、第2・3回ではその中からそれぞれ中性子・放射光について深掘りし、実験施設や利用例を通じて量子ビームが身近な存在で役立っていることを理解していただきます

01

藤井先生

藤井先生

下村先生



東京大学名誉教授  
藤井保彦(ふじい やすひこ)

1941 岐阜県出身  
1964 物理学 理学部卒業  
1966 物理学 理学部助手  
1970 物理学 理学部助教授  
1979 物理学 理学部教授  
1986 物理学 理学部教授  
1992 物理学 理学部教授  
1998 物理学 理学部教授  
2002 物理学 理学部教授  
2008 物理学 理学部教授  
2012 物理学 理学部教授  
2018 物理学 理学部教授  
2022 物理学 理学部教授

高エネルギー加速器研究機構名誉教授  
総合研究大学院大学名誉教授

下村 理(しもむら おさむ)

1944 大阪府出身  
1966 物理学 理学部卒業  
1968 物理学 理学部助手  
1970 物理学 理学部助教授  
1972 物理学 理学部教授  
1974 物理学 理学部教授  
1976 物理学 理学部教授  
1978 物理学 理学部教授  
1980 物理学 理学部教授  
1982 物理学 理学部教授  
1984 物理学 理学部教授  
1986 物理学 理学部教授  
1988 物理学 理学部教授  
1990 物理学 理学部教授  
1992 物理学 理学部教授  
1994 物理学 理学部教授  
1996 物理学 理学部教授  
1998 物理学 理学部教授  
2000 物理学 理学部教授  
2002 物理学 理学部教授  
2004 物理学 理学部教授  
2006 物理学 理学部教授  
2008 物理学 理学部教授  
2010 物理学 理学部教授  
2012 物理学 理学部教授  
2014 物理学 理学部教授  
2016 物理学 理学部教授  
2018 物理学 理学部教授  
2020 物理学 理学部教授  
2022 物理学 理学部教授



①講座名 ②住所 ③氏名 ④電話番号 を記入の上、ハガキかファックスで  
9月15日(土)までに公民館へ(応募者多数の場合は市民を優先の上、抽選)

※結果はハガキでご連絡いたします。

〔宛先〕〒659-0068 芦屋市業平町 8-24 芦屋市立公民館  
TEL:0797-35-0700 FAX:0797-31-4998 主催:芦屋市立公民館

芦屋市民センター  
401室  
定員 90名  
受講料 1200円

# 電子-100選

電子-100選とは、電子技術の発展に貢献した100の製品・技術・人物を、その歴史と意義を踏まえ、体系的に紹介する。電子技術の発展に貢献した100の製品・技術・人物を、その歴史と意義を踏まえ、体系的に紹介する。

**電子-1** 真空管

1904年、リーフランドが三極真空管を発明。これにより、電気の増幅とスイッチングが可能となり、電子技術の発展の礎を築いた。



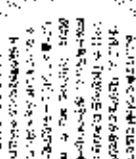
**電子-2** 半導体

1947年、ベル研究所でトランジスタが発明された。真空管に代わり、小型化と高信頼性を達成し、現代電子技術の基盤となった。



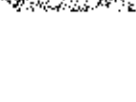
**電子-3** 集積回路

1958年、テキサス・インスツルメンツ社で最初の集積回路が開発された。複数の部品を一つのチップに集約し、電子回路の小型化と高機能化を実現した。



**電子-4** マイクロプロセッサ

1971年、インテル社で最初のマイクロプロセッサが開発された。コンピュータの脳とも言われ、現代社会のあらゆる電子機器の中心となった。



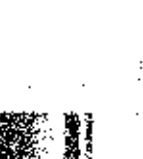
**電子-5** パソコン

1981年、IBM社で最初のパーソナルコンピュータが開発された。家庭や小規模企業でも利用可能なコンピュータとして普及した。



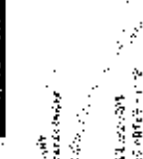
**電子-6** インターネット

1960年代に始まったARPANETが、1990年代にWWWの登場と共にインターネットとして爆発的に普及した。



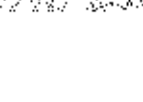
**電子-7** スマートフォン

2007年、アップル社で最初のiPhoneが開発された。電話とコンピュータの機能を統合し、現代生活の必需品となった。



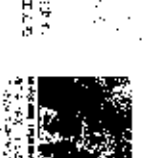
**電子-8** クラウドコンピューティング

インターネットを介して、遠く離れたサーバーにデータを保存し、必要な時にアクセスする技術。柔軟性と拡張性を提供する。



**電子-9** 人工知能

1956年に始まった人工知能の研究は、近年急速な発展を遂げ、自然言語処理や画像認識などに応用されている。



**電子-10** 量子コンピューティング

量子力学の原理を利用した計算技術。従来のコンピュータよりもはるかに高速な計算が可能と期待されている。



**電子-11** ナノテクノロジー

原子や分子レベルで物質を制御する技術。新材料の開発や医療分野での応用が期待されている。



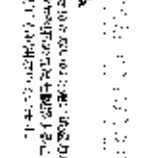
**電子-12** 宇宙技術

衛星通信や宇宙探査など、宇宙空間での電子技術の応用。地球規模での通信や環境観測に貢献している。



**電子-13** 環境技術

省エネルギー型LED照明や再生可能エネルギー技術など、持続可能な社会を実現するための電子技術の応用。



**電子-14** 医療技術

人工心臓や脳神経刺激装置など、電子技術が医療分野で重要な役割を果たしている。



**電子-15** 農業技術

スマート農業やドローンによる農薬散布など、電子技術が農業生産の効率化と持続可能性に貢献している。



**電子-16** 防災技術

地震計や津波計など、電子技術が防災・減災に重要な役割を果たしている。



**電子-17** 交通技術

自動運転やスマート交通システムなど、電子技術が交通の安全と効率化を実現している。



**電子-18** エネルギー技術

太陽電池や燃料電池など、電子技術が再生可能エネルギーの普及を促進している。



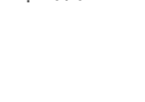
**電子-19** 宇宙探査技術

火星探査車や宇宙ステーションなど、電子技術が宇宙探査の発展を支えている。



**電子-20** 環境保護技術

大気汚染センサーや水質センサーなど、電子技術が環境保護に貢献している。



**電子-21** 教育技術

オンライン学習プラットフォームやVR教材など、電子技術が教育の革新を促している。



**電子-22** 社会福祉技術

高齢者支援ロボットや障害者支援技術など、電子技術が社会福祉に貢献している。



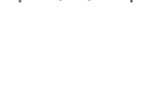
**電子-23** 文化遺産技術

デジタルアーカイブやVRによる文化遺産の再現など、電子技術が文化遺産の保存と活用を支えている。



**電子-24** スポーツ技術

ウェアラブルデバイスやスポーツ科学など、電子技術がスポーツの発展を支えている。



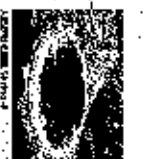
**電子-25** 宇宙産業技術

衛星通信サービスや宇宙観光など、電子技術が宇宙産業の発展を支えている。



**電子-26** 環境モニタリング技術

衛星による地球環境のモニタリングなど、電子技術が環境保護に貢献している。



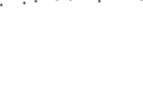
**電子-27** 宇宙探査技術

火星探査車や宇宙ステーションなど、電子技術が宇宙探査の発展を支えている。



**電子-28** 環境保護技術

大気汚染センサーや水質センサーなど、電子技術が環境保護に貢献している。



**電子-29** 教育技術

オンライン学習プラットフォームやVR教材など、電子技術が教育の革新を促している。



**電子-30** 社会福祉技術

高齢者支援ロボットや障害者支援技術など、電子技術が社会福祉に貢献している。



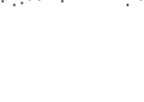
**電子-31** 文化遺産技術

デジタルアーカイブやVRによる文化遺産の再現など、電子技術が文化遺産の保存と活用を支えている。



**電子-32** スポーツ技術

ウェアラブルデバイスやスポーツ科学など、電子技術がスポーツの発展を支えている。



# 心理学への招待:

## 「自分を知り、自分を変える心理学」

### 講演概要

他でもない自分自身の心の動きが、思い通りにならないことがあるのはなぜでしょう？知られざる心の仕組みについて解説します。第1回講演では、私たちが意識的に体験する世界を支える、無意識の心の働きについて見ていきます。第2回講演では、なぜヒトはここまで繁栄を極めることができたのか、心の進化の謎に迫ります。第3回講演では、どうすれば幸せな人生を送ることができるのか、感情やストレスと付き合うための秘訣について考えます。



10/12 (金)

心理学への招待：  
心のフィルターを通して見る世界



11/16 (金)

自己と他者：  
社会とつながる心の仕組み



12/14 (金)

感情の科学：  
ストレスと上手に付き合う方法



講師 及川昌典

・講師プロフィール・

同志社大学心理学部准教授、社会学博士。一橋大学大学院社会学研究科修了後、日本学術振興会特別研究員、米国ニューヨーク州シラキュース大学心理学部博士研究員、和蘭ユトレヒト州ユトレヒト大学心理学部博士研究員を経て現職。専門は社会心理学。ストレス、セルフコントロール、ステレオタイプなどを中心に、意識と無意識の心の動きに関する研究を行っている。

1. 講座名 2. 住所 3. 氏名 4. 電話番号 を記入の上、A5サイズで9月15日(土)まで公民館へ(応募者多数の場合は抽選を要する) ※申し込みは郵送のみです  
【申込】〒659-0068 岸和田市華平町8-24 岸和田市公民館  
受講料 1200円(3回分一括) 主催 岸和田市公民館 TEL 35-0700 FAX 31-4998

平成 30 年度 秋の公民館講座

# 田辺真人先生の「文化の歴史」講座

## Part 18

今、文化の大切さが言われています。講師の田辺真人先生から、歴史学・地域学・民俗学・文化を生かした街づくり、歴史を生かした観光振興など、とっておきの「文化の歴史」を学びませんか。



田辺真人先生

### 講師「田辺真人氏」のプロフィール

関西学院大学卒業。現在は園田学園女子大学名誉教授・兵庫県史編纂委員・宝塚市大使・川西市生涯学習短期大学学長。1986年～91年にはニュージーランド教育省、国立マッセイ大学に勤務。地域史研究に対して神戸市文化賞・兵庫県文化賞・宝塚市市民文化賞を、教育行政の功勞で文部科学大臣表彰を受ける。ラジオ関西「田辺真人まっこと」ラジオ「NHKテレビ」新兵庫史を歩く”などに出演など多方面で活躍中。

著書として「ニュージーランドの風土と生活」「神戸の伝統」「神戸の 150 年」「神戸阪神歴史探訪」「神戸人物史」「平清盛と神戸」など多数

時間 午前10時30分～12時 定員 90人・受講料 2,400円(6回分で)

回	月日(曜)	会場	内容	講師
1	10月18日(木)	芦屋市民センター 401室	東西南北の文化史(1)	園田学園女子大学 名誉教授 田辺 真人氏
2	11月29日(木)	401室	東西南北の文化史(2)	
3	12月20日(木)	401室	瀬戸内海の水上交通	
4	1月31日(木)	401室	4回目以下は、楽しいテーマの「文化の歴史」の本質に迫る、ミステリーセミナーを設定します。	
5	2月28日(木)	401室		
6	3月28日(木)	401室		

■申し込み方法 ①講座名、②住所、③氏名、④電話番号を記入のうえ、平成30年9月15日(土)までに、はがきかファックスまたは公民館備付け用紙で公民館へ(応募多数のときは、市民の方を優先のうえ抽選)結果は、はがきでご連絡をします。

(あて先) 〒659-0068 芦屋市業平町 8-24 公民館

■ 主催 芦屋市立公民館 (Tel 0797-35-0700・Fax 0797-31-4998)



## 歴史を探る ～戦国時代の闇をあばく

信長の登場は二つの潮流と出会っている。一つは大航海時代、世界の大きな流れ、キリスト教のイスラーム教に対する攻勢所謂レコンキスタ、もう一つは中世から近世への流れ、今川義元と信長の戦い即ち「桶狭間の戦い」はまさしく中世と近世の戦いであった。

同じ軍隊に属しながらチームワークの全くない今川中世軍と統一した指揮のもとでチームワークで戦った信長近世軍。

また12月の講座では「利休」は切腹しなかったと論証したいと思います。

◇時間午前10時15分～11時45分 定員90名 受講料1,200円(3回分)

回	月日(曜)	会場	内容	講師
1	平成30年 10月5日(金)	市民 センター 401室	信長 歴史に登場	城郭・歴史研究家 菅原 美文 氏
2	11月9日(金)		本能寺の変の真相	
3	12月7日(金)		利休は切腹していない	

### 講師プロフィール

城郭・歴史研究家。関西学院法学部卒業。姫路市教育委員会では社会教育の業務に長く携わり、その後姫路文学館に勤務。平成7年8年には兵庫県立姫路短期大学の非常勤講師を務める。

現在、姫路文学館、姫路市市民会館、播磨町立図書館、芦屋市公民館で講師を務める。



- 申し込み方法 ①講座名、②住所、③氏名、④電話番号を記入のうえ、平成30年9月15日(土)までに、はがきかファックスで公民館へ(応募多数のときは、市民の方を優先のうえ抽選)結果は、はがきでご連絡をします。

〈あて先〉 〒659-0068 芦屋市業平町8-24 公民館

- 主催 芦屋市立公民館 (Tel. 0797-35-0700・Fax 31-4998)

平成30年度 秋の公民館講座

定員90名  
1200円  
(全3回分)

# 阪神間 ゆかりの作家たち

秋の講座に登場するのは富士正晴、岡部伊都子、小松左京。戦後、関西に腰を据えつゝ全国的活躍をした3人はそれぞれ阪神間と深いゆかりを持つ。

同人誌「川口文学」を創刊した富士は、阪急六甲駅に暮らした同人。久坂肇子を生産者、掛けた。随筆の名手、岡部は、六甲山麓で作家デビューした。小松の「日本沈没」のアイデアは西宮に暮らした少年時代にその源を、独自の視点で名作を語り解く。3人は個性派作家で新展開。



10/11(木)

11/8(木)

12/13(木)

午前10時00分～11時30分

六甲

東灘

夙川

富士  
正晴



岡部  
伊都子



小松  
左京



【講師】

石野 伸子

経典新聞編集委員、1974年度経典新聞大賞を受賞。文化部長、編集局長を務めた。著書『女、50歳からの東京』、『共産党丸転び子超等の女』、『西澤千景』(新潮文庫)、『経典新聞』(2012年)、『経典新聞紙上での思春期を振り返る』(連載中)

申し込み方法

①申込書に住所、氏名、電話番号を記入し、平成30年9月26日まで、公民館が主催の公民館へ応募ください。お申し込みのうえ、抽選結果は、9月26日連絡いたします。

申込先 〒658-0008 兵庫県東灘区夙川2-24 夙川市民館 TEL:3114993 夙川市民館 35-0700



平成30年度 秋の公民館講座

# 世界はニュースだけでは わからない(時事・文化講座)



◇ 時間 午後2時～3時30分 定員90人 受講料 2,400円(6回一括)

回	月 日 (曜)	会 場	内 容	講 師
1	平成30年 10月13日(土)	芦屋市民 センター 401室	比較を超えて ―相互関係性の視点から見た 日・英の植民地主義と抵抗	同志社大学グローバル 地域文化学部教授 木谷 智
2	11月24日(土)			
3	12月15日(土)			
4	1月19日(土)			
5	2月9日(土)			
6	3月9日(土)			

## ■申し込み方法

①講座名、②住所、③氏名、④電話番号を記入のうえ、はがきかファックスまたは公民館備付けの用紙で

9月15日(土)までに公民館へ(応募多数のときは、市民の方を優先のうえ抽選)

〈あて先〉 〒659-0068 芦屋市業平町8-24 公民館

## ■主 催

芦屋市立公民館 (Tel 0797-35-0700、F a x 0797-31-4998)

公民館音楽会

ルネサンス・バロックの器楽曲

# 古楽が 聴こえる風景

平成30年10月6日(土)

午後2時00分～3時30分 (開場1時30分)

芦屋市民センター 音楽室



指揮者：横山知彦

カステッロ：ソナタ第1番  
 フレスコバルディ：アリアー・フレスコバルディ  
チェンバロ・ソロ

テレマン：2声のためのカノン  
ヴァイオリン&チェンバロ

オルティス・シセルカータ第2番、第8番  
ドゥワレン・組曲(長調より)

J.S.バッハ：ヴァイオリン&チェンバロのためのソナタ  
ハ短調BWV1017  
(ヴァイオリン&チェンバロ)

D.ワグナルスライ：ソナタK.179、K.174  
(ヴァイオリン&チェンバロ)

ラモー：コンセール形式によるクラヴィサン曲集  
第3番(長調より)

- 申込方法 ①音楽会名 ②氏名 ③住所 ④電話番号 ⑤参加人数 (1名か2名) を記入のうえ、はがきかファックスで公民館「音楽会 10/6 係」へ参加人数が2名の場合は、代表者の氏名と住所、電話番号をご記入ください

《あて先》〒659-0068 芦屋市業平町8-24 公民館「音楽会 10/6 係」 FAX 0797-31-4998

- 申込締切 9月19日(水) 必着
- 募集人数 120名 (応募多数の場合は抽選、芦屋市民優先 結果ははがきでお知らせします)
- 参加費 500円 (当日、会場でお支払いください)

参加費  
500円

主催・問い合わせ先 芦屋市立公民館 TEL 0797-35-0700

## 公民館音楽会

ルネサンス・バロックの器楽曲

# 古楽が 聴こえる風景

～旧きヨーロッパの街に想いを寄せて～

### *Baroque Violin*

#### バロック・ヴァイオリン

横山知彦 (よこやま ともしこ)

大阪大学文学部美学学科卒。幼少よりヴァイオリンを始め、田淵芳郎氏ほかには師事。2004年、バロック・ヴァイオリンに転向後、ヒロ・クロサキ氏、寺神戸亮氏、E. オノフリ氏、S. クイケン氏の公開レッスンを受講。2011年より赤津眞言氏の指導を定期的にする。古楽演奏団体「アンサンブル・トリーヌ」メンバー。芦屋市在住。

### *Viola da Gamba*

#### ヴィオラ・ダ・ガンバ

中西 歩 (なかにし あゆみ)

大阪音楽大学音楽学部作曲学科楽理専攻卒業。在学中よりヴィオラ・ダ・ガンバと古楽アンサンブルを佐野健二、坂本利文の両氏に師事。インスブルック夏期国際古楽祭にて、ヴィーラント・クイケン氏のコースを受講、2000年よりジョナサン・マンソン氏の指導を定期的にする。

ムジークフェストなら、大阪音楽セミナー、豊中市・大阪音楽大学開放講座、高齢者大学講座、神戸市アートベンチャー事業入選企画等に出演。

2008年度フェニックス・エヴォリューションシリーズに選ばれ、同ホールにて上演。ジャンルを超えたアーティストとのコラボレーション企画を展開するなど、古楽奏者として活動している。「オルティス・コンソート」「アンサンブル・トリーヌ」「ル・ティサージュ」メンバー。

### *Cembalo*

#### チェンバロ

中出悦子 (なかで えつこ)

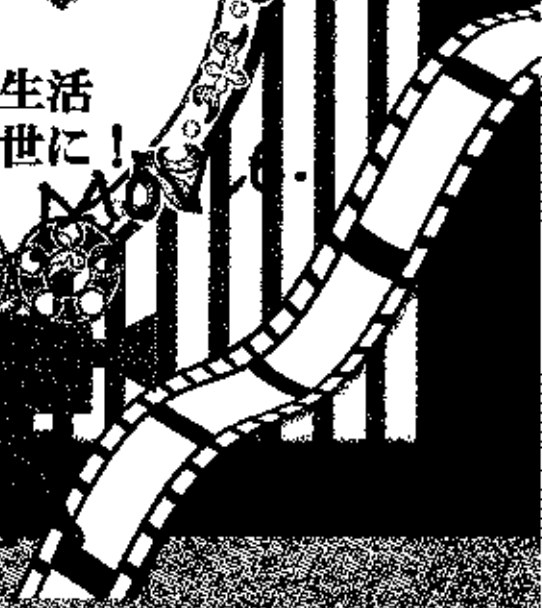
京都市立堀川高校音楽科、神戸女学院大学音楽学部ピアノ科卒業後、スイス・チューリッヒ音大チェンバロ科に留学。演奏家ディプロマを最優秀で取得し、さらにドイツ・フランクフルト国立音大大学院で研鑽を積む。ソロリサイタル開催の他、京都市交響楽団、プレーマーフィル等とチェンバロコンチェルト共演。'04年、'06年、'13年、'14年スイスにて、'08年、'09年、'12年フランスにてリサイタルを行い、地元メディアにて好評を得る。フランス Les Solistes de Demain フェスティバル参加、パリ Atelier Von Nagei チェンバロ工房でのドキュメンタリー番組にチェンバリストとして出演。2018年スイスへ演奏旅行予定。その他日欧でコンサート、テレビ、ラジオ出演。チェンバロを J. ゾンライトナー、H. キルバルト、G. ムレイ、H. ヘーレンの各氏に師事。神戸女学院大学、佛教大学非常勤講師を歴任。現在、門真市音楽協会会長。バロックアンサンブル「ラ・ルーナ」代表。2015年、門真市より「文化教育功労賞」を受賞。

中出悦子ホームページ [www.etsukocembalo.com](http://www.etsukocembalo.com)

市民の豊かな記憶を掘り起こす

# 芦屋の映像 コレクション

昭和初期、六麓荘の家族の生活  
阪神大水害 80年 記憶を後世に！



2008年10月27日(金)

15時30分

401室



「昭和初期、六麓荘の家族の生活」は、芦屋市立歴史民俗資料館蔵のフィルム（1930年代）をデジタル化した映像です。この映像は、六麓荘の家族の生活の様子を捉えており、当時の生活様式や家族の絆を伝える貴重な資料です。また、「阪神大水害 80年 記憶を後世に！」は、阪神大水害の被害状況を記録した映像で、当時の惨状や復興の様子を伝える貴重な資料です。この映像は、被災者の苦難と希望を伝える貴重な資料であり、被災者の記憶を後世に伝える重要な役割を果たしています。

大塚博光

芦屋市民センター 3F 401室

古典の日記念講演会

# 平安時代における 「雅楽」の成立

## 平安古典文学の背景

日本の雅楽は種々の外来音楽を基礎として、まさに平安貴族の趣味によって現在の形に形成されました。その平安貴族にもてはやされた『源氏物語』や『枕草子』などの古典文学においては、成立したばかりの雅楽に関する興味舞楽記述が多く見られます。そのような雅楽の歴史を解説し、古典文学に見られる雅楽曲の背景などを紹介したいと思います

2018年11月2日(金) 午前10時～11時30分

講師 小野真龍氏

天王寺舞楽協会常務理事  
京都大学大学院文学研究科非常勤講師

大阪府出身、京都大学文学研究科博士課程修了(宗教学)、  
京都大学博士(文学)相愛大学准教授を経て現職。  
京都大学文学研究科講師(非常勤)、龍谷大学大学院講師(非常勤)も務める。

天王寺舞楽を演奏する雅亮会の事務所である願泉寺に、雅亮会初代会長小野樟蔭のひ孫として生まれる。祖父の振替、父の功胤はいずれも雅亮会楽頭を務めた。幼少より四天王寺の石舞台上で童舞を舞い、平成5年に雅亮会会員となる。四天王寺の「聖霊会」をはじめ、住吉大社、叡島神社等、天王寺楽所由縁の舞台上で伝承・演奏活動を続けている。また、フェスティバルホールでの雅楽演奏会に毎年出演する他、各種依願、舞楽でのホールにおける演奏活動、海外演奏経験も豊富。舞楽、龍笛、楽等、打物を担当。相愛大学音楽学部、兵庫大学大学院、雅亮会雅楽練習所、浄土真宗本願寺派楽式指導所などで雅楽解説・実技の講師も務めている。



高島市民センター 401

定員 先着100名  
申込 不要(直接会場へお越し下さい)  
主催 高島市立公民館  
TEL 0797-35-0700

# NHK公開講演会

## 『太陽の塔』展

あべのハルカス美術館で開催される『太陽の塔』展（会期：2018年9月15日（土）～11月4日（日））を紹介するNHK公開講演会を開催します。1970年、日本万国博覧会のテーマ館の一部として岡本太郎（1911～1996）が作り上げた『太陽の塔』。岡本太郎による構想から完成。さらには再生事業まで。関連作品や精巧な模型に加え、映像や音響など多様なメディアを駆使した展覧会の見どころをご紹介します。

平成30年 10月3日（水）

午後2時～3時30分（午後1時30分開場）

芦屋市民センター（ルナ・ホール）



太陽の塔を再訪した岡本太郎（1979年）



奇功出世を行う『太陽の顔』（1969年）

### ◆テーマ 「太陽の塔」展の見どころ紹介

◆講師 あべのハルカス美術館学芸員 新谷式子氏

◆申し込み方法 入場には整理券が必要です。必ず在復はかきでお申し込みください。

往復はかき面に、①講演会名、②住所、③氏名、④電話番号、⑤参加希望人数（1名または2名）を記入のうえ、9月19日（水）＜必着＞までに持込ください。

返信おもて面には申込者の郵便番号、ご住所、氏名をご記入ください。返信はかきは空白のままにしてください。応募者多数の場合は抽選となります。

※はかきの郵便料金は2017年6月から62円（往復はかき124円）となりました。枚数前にご確認ください。  
※往復はかき以外を使用が厳禁です。また郵便料金不足の場合、戻付できませんのでご注意ください。

◆おて先 〒659-0068 芦屋市業平町8-24 公民館「NHK公開講演会 太陽の塔展」係

◆問い合わせ先 芦屋市立公民館 TEL 0797-35-0700

主催 芦屋市立公民館・NHK神戸放送局



# NHK公開講演会

## 没後50年 藤田嗣治展

京都国立近代美術館で開催される「没後50年 藤田嗣治展」(会期：2018年10月19日(金)～12月16日(日))を紹介するNHK公開講演会を開催します。

エコール・ド・パリの寵児のひとつで、太平洋戦争中の作戦記録画でも知られる藤田が世を去って、今年で50年目にあたります。その節目に問われる画業の全貌を網羅する展覧会の内容や見どころを、より深く理解できる講演会です。

平成30年 **10月31日** 

午後2時～3時30分 (午後1時30分開場)

**芦屋市民センター (ルナ・ホール)**



藤田嗣治・アトリエ

1940年撮影・フランス  
マシビエール・ヤンタ・エフサンヌ・パリ市役

Photo Archive: a Paris (France) De-AMN Client Record  
Accession Number: distributed by AMF

© reproduction of original AMF/Paris & AMF/Paris 2017-2018

### ◆テーマ 「藤田嗣治 ―郷愁と敬虔の画業をたどる―」

◆講師 京都国立近代美術館 主任学芸員 梶岡秀一氏

◆申し込み方法 入場には整理券が必要です。必ず往復はがきでお申し込みください。

往信うら面に、①講演会名、②住所、③氏名、④電話番号、⑤参加希望人数（1名または2名）をご記入のうえ、**10月15日(月)〈必着〉**までにお送りください。

返信おもて面に①申込者の郵便番号、②住所、③氏名をご記入ください。返信うら面は空白のままにしてください。応募者多数の場合は抽選となります。

※お申し込みの郵便料金は2017年6月から62円(半額16円)となりました。長函箱にて確認ください。

※没後50年以外と併催の場合、また郵便料金が不足の場合は受付できませんのでご注意ください。

◆おて先 〒659-0068 芦屋市業平町8-24 公民館「NHK公開講演会 藤田嗣治展」係

主催 芦屋市立公民館・NHK神戸放送局

第七十四回 市民寄席



ざこば

雀三郎

南光

# ざこば・雀三郎・南光 三人会



米輝

米左

平成30年 11月30日〈金〉  
午後6時30分開演(6時開場)

会場 **ルナ・ホール**

(芦屋市民センター 大ホール)

※未就学のお子様のご入場はご遠慮ください。

料金 前売3,000円 当日3,500円 **全席指定**

前売開始:平成30年9月15日(土)  
チケット販売所:市民センター事務所、芦屋市役所売店、  
ローソンチケット(シゴード56162)

■主催:芦屋市・芦屋市教育委員会 ■制作協力:米朝事務所

《お問い合わせ》芦屋市民センター ルナ・ホール事業担当 ☎0797-35-0700

演目は  
当日のお楽しみ

《出演》

桂南光	桂三郎	桂ざこば	桂米左	桂米輝
桂南光	桂三郎	桂ざこば	桂米左	桂米輝

中入

